

## 「新具象彫刻展を出発点とした東京造形大学の出身者たち」開催



### 【概要】

1976-1985年の10年間にわたり、「新具象彫刻展」という展覧会がありました。出品作品に求められた唯一の条件は「具象」であること。都内の美術大学卒業生を中心とした40人たらずの若者たちが東京都美術館に集結し、従来の具象彫刻の概念を見つめ直し、“本当に表現したい具象とは何か”を真剣に模索しながら制作し、発表を繰り返しました。

若き彫刻家たちにとって、学生時代に慣れ親しんだ「具象」に改めて向き合った「新具象彫刻展」の10年という期間は、それぞれの表現世界へ向かって飛び立つ前の貴重な“助走期間”になりました。

今回東京造形大学附属美術館では、「新具象彫刻展」に出品した多くの彫刻家の中から、東京造形大学出身の7人の彫刻家の表現活動に着目します。

本展は7人がこれまでに発表した作品を、「新具象彫刻展出品作」「新具象彫刻展以降の作品」「近作」の3つの時点に分

け、それぞれを比較展示することで、7様の表現の変遷を辿ります。

7人の彫刻家たちが長年にわたり、彫刻と真摯に向き合うことで生み出された作品の数々は、若き表現者をはじめ、多くの人たちに表現の“多様性”と“可能性”を実感させてくれるでしょう。

**出展者** | 麻田 昭作・浦野 八重子・奥田 秀樹・中ハシ 克シゲ・舟越 桂・三木 俊治・山崎 豊三

**会 期** | 2013年11月4日(月)～12月7日(土)

**休館日** | 日曜日・11月6日(水)・11月7日(木)・11月29日(金)・11月30日(土)

**時 間** | 10:00～16:30 (入館は16:00まで)

**観覧料** | 無料

**会 場** | 東京造形大学附属美術館

関連プログラム |

シンポジウム「新具象彫刻展というのがあった」

日 時 | 2013年11月8日(金) 17:30-19:00

パネリスト | 新具象彫刻展歴代運営委員長

会 場 | 東京造形大学 12号館 (大学院棟) 2F

レクチャールーム

※参加自由・事前申込不要

### 【お問い合わせ先】

学校法人桑沢学園 東京造形大学

企画セクション TEL : 042-637-8755

FAX : 042-637-8164

e-mail : gakuenkikaku@kuwasawa.ac.jp